

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和5年2月27日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	佐賀県みやき町	代表者名	町長 岡毅
担当者部署	総合政策課	連絡先電話番号	0942-89-1654
担当者役職	専門主査	担当者氏名	山崎 祐志
住所	849-0113 佐賀県みやき町大字東尾737-5		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中村 涼子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体職員としての豊富な経験をもとに、行政として出来ることや出来ないこと、実行に至るまでのハードル等、自治体として新たな取り組みを始める上での前提条件というものが既知の状態でのアドバイスをされるため、紹介いただいた実証実験の事例が非常に前衛的であるにも関わらず、本町でも参考にさせてもらい具体的に組み立てるのではないかと大きな期待感をもって捉えることができた。また、これまで自治体職員として地方創生やシェアリングエコノミーに取り組まれたことを現在は民間企業の立場で継続・発展されており、官民両方の視点で課題やポイント等を丁寧にご教示いただけた。
アドバイザーへの要望事項	次年度以降もアドバイザー派遣事業を活用させていただき、本町の地域課題解決に向けたシェアリングエコノミーの活用について、是非ともご指導をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年2月22日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			17時00分	19時00分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	みやき町庁舎	最寄駅	中原駅	
	所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字東尾737-5	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	町長及び職員	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	“シェアリングエコノミー”について、実際にどのような先進事例があり、本町においてはどのような取り組みが可能なのか、まだまだ職員の知識や意識に大きなバラつきが見られる。人口減少が進む次代を見据えた地方創生実現の一つの手段として、シェアリングエコノミーを取り入れた魅力ある地域づくりに取り組んでいくために、その活用方法や具体的な手法を学び、本町における地域課題解決に向けた共助の仕組みづくりができる職員の育成が課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	アドバイザーが取り組まれている“空のシェアリング”については、成功事例として注目を集める実証実験の一つだと認識しているが、アドバイザー自身が行政と民間の両方の立場で携わっている中で感じている課題や本事業の将来性等について具体的にご教示いただいた上で、本町が抱える地域課題を解決し、地方創生実現のために地域の魅力や特色を活かした共助の取り組みとして何が出来るかを検討する。今回、町長及び政策担当部局職員を中心とした研修会を行い、今後の新たな展開に向けた契機としたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	シェアリングエコノミーを活用した地方創生に関する研修（講義）を実施。多久市の事例（シェアリングエコノミー、地方創生、企業誘致、ドローン実証実験、等）について、これまでの取り組み内容を紹介いただき、今後の展望や制度上のハードル、解決すべき課題等について説明いただいた。 ○事前打合せ 17:00～18:00 ○研修会（講義）18:00～19:00（参加者：町長及び政策担当部局職員 10名）	
支援を受け改善又は解決された内容	シェアリングエコノミーに関する基礎知識から、多久市のドローン事業を事例として地域を巻き込んだ共助の仕組みづくりまで学ぶことができた。また、シェアリングエコノミーを活用して地域課題を	

(具体的にご記入下さい)	た共助の仕組みのイメージがよりよくなりました。また、シェアリングエコノミーを活用して地域課題を解決する際、それが新たな産業として成立するかどうかを「ELSI」という視点で判断する、というアドバイスは大変参考になった。共助による地域課題の解決策が地域住民・民間事業者・町の3者にとって正(プラス)に作用する仕組みを構築することができれば、事業の持続可能性も含め、町として積極的に取り組む価値があること、また、そのためには地域課題を改めて洗い出した上で地域住民と一緒に共助による解決策の検討を進めていく必要があること、を学んだ。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	最終的には本町でもシェアリングエコノミーを活用した共助のまちづくりを進めていきたいと考えており、今後は地域課題の洗い出しを行い、地域住民と一緒にその解決に向けた共助の仕組みづくりまでを具体的に検討していく必要がある。中村アドバイザーは“シェアリングエコノミー伝道師”としての肩書だけでなく、実際に地域住民を巻き込んでドローンを活用した実証事業にも取り組まれており、引き続き本町の新たな取り組みに伴走支援をお願いしたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回はシェアリングエコノミーに関する初めての庁内研修であり、まずは町長及び政策担当部局職員を対象に、基礎的な知識習得や情報収集に主眼を置いて実施したためアンケートは行っていません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	“シェアリングエコノミー”という視点で地域課題の解決策を検討・提案し、地域の魅力や特色を活かした共助によるまちづくりにチャレンジしつつ地方創生を実現させる。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



